

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境								3.1
1 音環境		3.0	0.15	-	-			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	-	-			
2 外皮性能		3.0	0.25	-	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-			3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-			
1 昼光率	昼光率2.5%以上	5.0	0.60	-	-			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 昼光制御		3.0	1.00	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.6	0.25	-	-			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用している	4.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.3	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	-	-			
2 自然換気性能	居室面積の1/30以上の開閉可能な窓を確保している	4.0	0.33	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-			
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1
1 機能性		2.7	0.40	-	-			2.7
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		1.0	0.33	-	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	-	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	管理事務室天井高:2.7m、窓の設置あり	4.0	0.33	-	-			
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペースの確保	4.0	0.33	-	-			
3 内装計画		1.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	スチールハントレル塗装品を採用	5.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	事務室・床OA707-H100の上タイルカーペット6.5、壁クロス(PB9.5+12.5)、天井岩綿吸音板t12(PBt9.5)	5.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトはステンレスダクトを採用している	4.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			2.6	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.6	0.30			3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30			
1	階高のゆとり	階高:3.9m以上	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.1未満	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39			2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.5
LR1 エネルギー			-	0.40			3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.63	4.0	0.01			4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12			3.0
3 設備システムの高効率化		BEI _m 非住宅 0.62	4.0	0.62			4.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)		BEI _m =非住宅0.62、LED照明設備を採用	4.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)							
4 効率的運用			3.0	0.25			3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング		3.0	-			
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.5
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1 節水		自動水栓に加えて、節水型便器を採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60			3.5
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン(路盤)、磁器質タイル(床)	4.0	0.22			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軟鉄+仕上材のディティール及びOAフロアを採用している	5.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20			3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材を使用しない	5.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.4
1 地球温暖化への配慮		LGCO2排出率=72%	4.1	0.33			4.1
2 地域環境への配慮			2.9	0.33			2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		1.0	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	LED照明器具の採用し、照明率が高くなるよう配光、設置位置の検討を行った。発光部分を点滅させない。	5.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			